TRAIL HEAD

3 ☞ CULTURE

文◉鈴木アキラ　Text by Akira Suzuki
写真◉熊原美恵　Photo by Yoshie Kumahara

「山」を部屋に置く



近くで見ると……

抽象的かつ激しい筆のタッチ。それが離れると写真のように具象化されて見えてくる

コンラッド・ヨン・ゴードリーさんはスイス在住の画家で、彼のモチーフは「山」。学生時代は油絵を専攻していたが、卒業後はフォトグラファーとなり、主にハイファッション写真を専門にして、ニューヨークやミラノで活躍していた。しかし、ファッション業界から心が離れていく自分を感じ、生まれ故郷であるスイスに戻り、日本でいうと上高地のような場所で、毎日大好きな山を見て暮らしながら、再び絵を描き始める。

彼の描く山は、実際の風景をそのまま見て描いたものではない。一度心の中に置いた山のイメージが煮詰められ、凝縮されるまで待ってからキャンバスに向かう。

朝日が山の斜面のほんの1部だけを照らす様子、ガスが晴れていく様子といった具体的なイメージ、山の持つ重厚感や荘厳さといった抽象的なイメージ、彼の心の中には「山」がぎっしり詰まっているのだろう。

今回紹介した絵は左上の1点を除きすべて9×12㎝という非常にコンパクトなものばかりで、額ではなく奥行きのある木箱に納められている。これは日本の住環境を考慮して、本棚などにも置けるようにとの配慮からしい。

ここで、見れます！
「ギャラリー日日（にちにち）」

器を中心としたギャラリー。オーナーはエルマー・ヴァインマイヤーさんという日本語を流暢に話すドイツ人。
ギャラリー日日
東京都渋谷区富ヶ谷1-43-12　定休日：水曜日
TEL.03-3468-9270
www.nichinichi.com